

番号	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	発言者A	老朽化が進んでいることや、バリアフリーではないことは事前に分かっていたことであるのに、心技館を再編する前にどのような方策を取ってきたのか。	心技館に限らず、老朽化した施設は基本的には大規模改修等をしていくべきだが、本市の財政状況が非常に厳しい状況であるため、多くは課題があったときにその部分を改修するにとどまっている。
2	発言者A	心技館を継続していくために、どのような努力をしてきたのか。	より安価に耐震補強する手立ての検討、建築担当職員や専門家への意見聴取、資金調達のためのクラウドファンディング等を検討した。耐震化するにしても工事費が高額であり、実現できないと判断した。
3	発言者A	2025年4月に大阪で関西万博が開催されるのに伴い、心技館で武道の体験をしたり、岸和田城の素晴らしさを世界の人に知ってもらい、クラウドファンディングを呼びかけるのはどうか。	岸和田城の魅力向上のため、天守閣の耐震化並びに展示機能の拡充の取り組みをしていく。心技館については老朽化しており耐震工事費がかさむため、クラウドファンディングや寄附を募ってもその額を満たせないと判断した。
4	発言者A	減価償却の考えを持って管理運営をしなかった責任はどうするのか。	行政では単年度予算主義のため、減価償却の考え方はない。建て替えや修繕が必要となった時点で、予算化し、執行している。
5	発言者B	心技館は道場なので、バレーやヨガもできる総合体育館に比べて利用率が悪いということを材料にあげないでほしい。	稼働率については、総合体育館内にある武道場と心技館を比較し、心技館の稼働率が半分以下になっていることを示している。
6	発言者B	心技館を廃館にして、柔道・剣道・空手・居合という武道の発展をどう考えているのか。	市の事業である武道教室については、総合体育館の武道場を通じて、後世に武道の技術を伝えていきたいと考えており、講師については心技会の皆様に引き続きご協力をお願いしているところ。 皆様の練習場所については、総合体育館の武道場や各中学校の剣道場・柔道場など、代替の施設の確保が可能であると判断した。
7	発言者B	岸和田城に観光客がたくさん来たら、お城を中心にした事業をどう展開するのか。	現在、天守閣について、耐震化を進めるとともに、エレベーターを設置することで、バリアフリー化を図り、より市民の皆様やインバウンド客が親しみやすい建物にしていこうと考えている。 観光交流センターについても、市民の皆様や観光客に岸和田市の歴史を知っていただける文化財の展示スペースを設け、観光魅力の向上に努めていく。

発言者	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
8	発言者A	命に代えられないような心技館の道場で、こども体操教室を開催しているのは、どういう気持ちか。	耐震性の無い建物を使い続けることには問題があると思っている。心技館は建築基準法の改正以前に建った建物で、既存不適格ではあるが、市民の命を守る観点から、代替の施設の確保の目処が立った段階で、速やかに供用をやめるべきと考えている。
9	発言者A	危ないところに観光交流センターを作ったということは、市民や観光する人の命をどうしているのか。	観光交流センターは、建築基準法の改正後に建った建物であり、Is値も建物として強度を持っているため、地震が起きても倒壊、崩壊の危険性がない建物と判断している。
10	発言者C	観光交流センターを石垣の上に建てられるなら、心技館を石垣の上から撤去する必要はあるのか。	心技館は石垣の上に接するようにして建っている一方、観光交流センターは石垣とは離れたところに立地し、文化財への影響に配慮して設計し建築されたものであることから、心技館とは事情が異なる。
11	発言者D	岸和田城は耐震工事ができて、心技館ができないのはなぜか。岸和田城と心技館は一体のものと考えているが。	八陣の庭は国が指定する名勝、文化財であり、岸和田城の天守閣は八陣の庭と一体のものとして位置付けられているため、今回耐震化し、更に活用していくものである。一方、心技館は文化財ではなく、八陣の庭と一体のものでもないということである。
12	発言者D	観光交流センターは歴史や文化を継承する施設というが、歴史と文化の展示はしていないように思う。	市議会や大阪府の文化財担当からも指摘を受けており、天守閣の耐震化と合わせ、観光交流センターに更に文化財の展示機能を持たせて、岸和田城天守閣並びに八陣の庭のPRに繋がるような、機能の拡充を図っていく。
13	発言者D	城下町岸和田という限り、城下町として生き残るため市としてこれからどういう事業をしていくかが大事と思う。	観光魅力をどう高めるのか、お城と一体でどうインバウンドを迎えるのかについて、ご意見があったことを市長・市長部局に伝える。
14	発言者E	総合体育館は指定管理者の対応が悪く、毎回嫌な思いをしているため総合体育館の武道場は活用しにくい。	ご意見を真摯に受け止め、改善に努めていく。
15	発言者E	再編計画の中で、学校の武道場を利用するとあるが、学校には学校行事があり、私たちの稽古のため毎週継続して施設の借入れは困難だと思う。	学校施設の利用は学校行事が最優先であるが、皆様の活動が今と同じように続いていけるよう努めていく。

発言者	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
16	発言者F	<p>令和4年度で終了した岸和田市青少年育成事業子どもの居場所教室（かつては剣道少年教室）には、開校式があった。開校式には必ず教育長が来て、お母さん方と子どもたちの前で挨拶をしていた。</p> <p>教育長と指導者が雑談も交えながらいろんな話をする。かつては教育長がそういうことを大事にしていたが、今はそういうことがない。</p>	<p>コロナ禍の影響もあったが、それぞれの役割分担のもとで、必要などころについては出席させていただく。</p>
17	発言者F	<p>岸和田市が、どのように子どもたちの心の問題を育てようとしているのか、方針が見えてこない。</p>	<p>子どもたちの心の問題は本当に大事であり、学校の教員は、例えば、子どもたちがお互いに相手のいいところを出し合うことで他者を理解する、そういうことを通じて、心の育成の取組みを懸命に進めている。</p> <p>子どもたちの心の問題は、不登校やいじめや暴力事象の解決の一番重要なところであり、人権教育・平和教育とともに、積極的に進めていかなければならないと思っている。また、家庭との連携も非常に大事であり、地域の皆様、家庭の皆様にもご協力頂いて心の教育を進めていく。</p>
18	後日意見	<p>心技館が立地する石垣は、大阪府指定の史跡（文化財）で、史跡保護の観点から撤去するとなっているが、石垣を守るのであれば、熊本地震で見ると石垣の上に直接建物が建ってその重みで石垣が壊れたと思う。岸和田城に入る長屋門と、右に建つ矢倉の建物（重要文化財）は直接、石垣の上に建っていると思う。心技館は石垣から約3.8mほど離れているが、撤去するのか。</p>	<p>岸和田城に敷地内にある八陣の庭が国指定の名勝、文化財であるため、天守閣や櫓等は八陣の庭と一体の構成要素として保存していく必要がある。</p> <p>一方、心技館は八陣の庭の構成要素ではなく、耐震性にかけ、倒壊や崩壊の危険性が高いため、供用を中止し、史跡である石垣を保護する観点から建物を撤去するものである。</p>
19	後日意見	<p>心技会が立ち退いた跡に心技館を倉庫他に利用することは有るのか。</p>	<p>岸和田市立社会体育施設再編第1期実施計画に記載のとおり、史跡保護の観点から建物は撤去する方針である。</p>
20	後日意見	<p>心技館の構造は、基礎はRC造りで屋根は重量鉄骨でトラス組みと思う。耐震補強の工事代は2億円もかかるのか。心技館を撤去する工事代と、耐震補強の工事代はだいたい同じくらいと思うが。</p>	<p>耐震補強工事費の約2億円は、平成25年に耐震診断を実施したときの概算であり、必要最低限の工事規模で積算したものである。撤去費は今後積算していくが、史跡である石垣の保護の観点から、金額の多寡にかかわらず撤去は実施していくべきものと考えている。</p>